

北海道中札内高等養護学校 校長室より

村内の小学生がモノづくりを体験しました

2日に分けて、中札内小と上札内小の子どもたちが、中札内本校にやってきました。毎年行われている作業体験。6グループに分かれて、各学科の作業や職業の学習で行うものづくりを体験しました。

担当する1年生の生徒たちにとっては、1年間学んだことを他者に教

えることで、自らの学びを深める時間となります。小学生にとっては、コミュニケーションをとりながらものづくりをし、地域にある学校でどんな人がどんな学びをしているのか知る機会になります。今年も温かな雰囲気の中、交流が行われました。小学生のみなさん、またきてね。



上札内小と中札内小の子どもたちに丁寧に教える生徒たち



自分ってどう変わった?

子どもたちは、自分が成長していることに気付いているのでしょうか?“自分ってけっこう頑張っているじゃん”と思える瞬間を感じてくれているのでしょうか?

人は、自分に自信がないと、人に次のチャレンジへの勇気をもてないものです。

中札内高養に通う生徒たちの中には、自分でその成長に気付くことが難しい人たちもたくさんいます。年度末の今、今年一年何をどう頑張りと、どんなふうに分が変わったのか?を、生徒を取り巻く大人同士で確認、伝えてあげてほしいと思っています。「きっとわかっているだろう」と流さず、ぜひ、言葉で伝えましょう。



手を使って遊ぶ

保健室で生徒が真剣に(笑)遊んでいたのが仲間に入れてもらいました。順番に数字を言いき、その時に立っていた指の数がその数字と合っているか?という単純な遊びでしたが、これがまた面白い!何人でもできるのもGood!人と向き合って、相手を意識してできる遊び少なくなってきたのかもなー。また一緒に遊んでください(^▽^)/



14日の夜、きらきら保育園の保護者の皆様に、「就学前に聞いてほしいこと」についてお話を聞いていただきました。とても熱心に聞いていただきありがとうございます。これからも中高養のセンター的機能をご活用ください!

